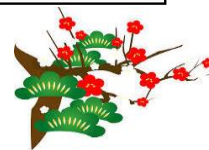


～新春雑感～

若穂地区住民自治協議会 会長 小宮山泰典



新年おめでとうございます。

平成としては最後の元旦を迎えました。ともあれ、今年も無事にあけたことに感謝しかありません。

さて雑感を述べます。戦争に明け暮れた20世紀が終わり21世紀を迎えた時、戦争や憎しみの対立がなくなるように人類は願いました。しかし、現実には民族や宗教対立・暴力やテロ・餓えや差別・経済的軋轢は以前にも増し、新たな不安定さが生じています。

かつて我が国は、世界でも希な階層移動が可能な国でした。誰でも一生懸命勉強し、働けば中流階級になることができたのです。けれども今は違います。国民の二極化が定着しつつあるからです。

また、大量に溢れかえる情報の中で社会的孤立が進み、青少年は人とのつながりをパソコンやスマートフォンのメールやラインに見い出さざるを得なくなっています。

一方、政治の世界では「丁寧な説明」などせず、世論を分断し生活を左右する様々な法案が強行採決により成立しています。また、居直りや論旨をすり替えた答弁がまかり通っていますが、この様な人達が道徳教育の必要性を叫ぶなどブラックユーモア以外の何ものでもありません。

さて話題を変えます。よく、我が国を再生させるのは「地方と若者」がキーワードだといわれていますが、現状を打開するには何らかの工夫と新たな力が必要です。社会参加に対する無関心な市民の増加や若者の保守化・右傾化という現実があるとしても、多様な意見を踏まえながら自分たちの生活と日常の営みを守るために何らかの行動を起こして、政治を立ち止まらせて私たちに視線を向けさせる必要に迫られているのだと思います。「どうせ成るようにしか成らない」という消極的・退行的な考えから脱却し、「成ることもある」という心を抱き続けていくことが大切であると感じています。

◇若穂まちづくり実行委員会◇

— 地域振興委員会 —

委員長 檜本茂治

新年あけましておめでとうございます。

平成最後の新しい年を迎えるにあたり、若穂まちづくり地域振興委員会と致しまして新年の抱負を申しあげます。当委員会は、発足以来沢山の課題を抱えつつ新年を迎えております。

我が郷土は、北信五岳・北アルプスを望む田園地帯にあって、穏やかな気質、おもてなしの心が地区の宝です。活気のある災害のない、住みよいまちづくりを目指して行くことが最も重要であり、地域全体の幸福と健康を願い、若者たちの将来に夢を託す為に、私たちはなにをすべきか……。

人口減少に伴う過疎化の進行により、私達の日々の生活にも影響が出てきます。各種期成同盟会の立上げによる地区要望の早期解決が急務であり、行政との共同推進事業が重要であります。若穂スマート・インター設置が実現すると、若穂地区の物流・交通体制・生活環境が変わります。

時代の変化をしっかり受け止め、多くの皆様方からの提言をいただき委員会の中で十分審議し、住みよいまちづくりを目指してまいりたいと思います。

若穂地区の皆様のご健勝と、10年後、20年後の発展を願い、年頭のご挨拶と致します。



— 福祉教育文化委員会 —

委員長 駒村征男

昨年は台風・地震・豪雨・猛暑・国際問題と大変な一年でした。

若穂地域も若穂まちづくり実行委員会が新たに創設され、一部でやや混乱したスタートになった様に思います。地区未来会議等の皆さんが努力され、若穂まちづくり計画を作って頂きました。その、それぞれの計画は住民自治協議会・各種団体・教育機関・各地域が実施している事業の様に思えました。

福祉教育文化委員会の委員も前記組織の代表が、あて職でメンバーを構成していました。定例会議でも委員の皆さんの困惑を感じましたので、計画についてのアンケートを全委員さんにお願ひし、委員会の方向や方法を得たいと考えました。その結果、文化祭・運動会・とびっくラン・ふれあい踊り・各公民館行事・学校関係行事・地域の文化/歴史/史跡等の書籍作成・地域音頭のCD化・料理教室・盆踊り・講演会・神社活動などなど、それぞれが生き生きと活動している現状が見えました。

会議においては、「イベントはこれ以上増やさなくても良いのではないか」「具体的に実行可能ものを探すべきではないか」「ここに行けば地域の事や活動が解るよというインデックス的な物ができないか」などの意見がでました。やはり各種組織の現在の活動を、より明確化・活発化することが重要であると思います。当委員会は、諸先輩や皆さんの意見を聞きながら、各組織の活動を側面から応援していきたいと思ひます。

— 道路交通委員会 —

委員長 藤澤幸平

謹んで新年のおよこびを申し上げます。

若穂まちづくり実行委員会がスタートして半年が過ぎようとしています。まちづくりの目標「住んでみたい、住んで良かった、品格のあるまち若穂」のスローガンのもと、なにぶんにも初めての事なので、手探りで活動しているような状況で半年が過ぎてしまいました。私の担当は道路交通のほうを主にやる事になっていますが、①通勤通学に利用しやすい公共交通のまち、②生活しやすい道路網の整備されたまち、中でも通過交通量の多い国道403号や落合橋の通勤時間帯の渋滞は深刻です。また通学、通院、買い物の交通手段となっているバス路線は、若穂地区として末永く維持継続させることが求められています。

そのような問題が山積みしているなか、全部を一度にはなかなか難しいということで、今年度は落合橋の朝の渋滞をなんとかしようではないかと話しができました。五輪大橋の無料化が落合橋の渋滞、国道403号、関崎橋の渋滞解消につながる事に思いを込めて、まず行動をと考えています。スマートインター、長野菅平線、落合橋、千曲川新道、千曲川堤防道路と事案はたくさんありますが、引き続き頑張って先に進めていきたいと思っています。今年度は新たに年号が替わりますが引き続きよろしくお祈り申し上げます。

若穂地区の皆様にとりまして良き年でありませう心よりお祈り申し上げます。

若穂まちづくりの推進！今年もよろしくお祈りいたします。

若穂地区住民自治協議会理事会・事務局一同

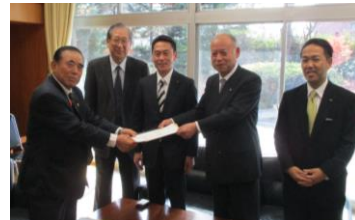


◇ 若穂スマートインターチェンジの早期事業化を要望 ◇

建設期成同盟会（会長：岡田荘司）は、11月に国土交通省長野国道事務所、長野県関係機関及び県議会議員に早期事業化へ向けて要望書を提出しました。

スマートIC建設は若穂にとって交通の利便性のみならず地域振興に大きな役割を果たし、さらに長野市の都市機能の強化にもつながるものです。その整備効果は非常に大きく早期の建設が求められます。

国、県ともに重要性を認識されており、早期建設をめざし前向きに取り組んでいただけたことでした。



（県会議員の皆様へ）



（長野国道事務所長へ）

◇ とびっくラン若穂(第7回) 地域の皆様に感謝！！ ◇

11月11日(日)に行われた第7回とびっくラン若穂は大成功でした。下記に参加者のアンケート結果を掲載します。中学生の皆さんがとりまとめをしてくれました。

1. アンケート結果(27 その他ご意見)

良 ・楽しかった・景色が良い・参加賞が良い・開催時期が良い・声援が心に残る・とてもすばらしい・ファミリーの駐車場が近くて良い・大会運営がしっかりしている・10kmの関門制限が無理がなくて良い・みんな優しい・サイコー・ボランティアが良く働く・応援でがんばれたのでまた参加したい・開催してくれて感謝します・ありがとう・トイレのペットボトルの手洗いサービス凄い、こんな事してくれる大会ない・おもてなしが良い・おもてなしが感じがよかった・おいしかった

悪 ・コースがでこぼこ・3kmに給水がない・おなかが痛かった



写真提供 大鳥様

2. 協賛金及び募金について

若穂全区の住民の皆様からご協力いただきました募金の総額は**¥788,897**でした。個人/協賛企業については集計中です。たいへんありがとうございました。

問合せ

若穂地区住民自治協議会事務局

(長野市若穂支所内)

☎050-3583-5700